

令和3年度 第1回 館山市子ども・子育て会議 要録

1 委員会名 館山市子ども・子育て会議

2 日 時 令和3年7月27日（火）10：00～11：45

3 会 場 市役所2号館2階会議室

4 出席者 石渡委員長、齋藤委員、小峰委員、本多委員、菊井委員
田中委員、酒井委員、秋山委員、佐野委員、石垣委員、
鈴木委員、能重委員、亀田委員

（欠席者）押元副委員長、新名委員

5 市側出席者 教育部長

（こども課）課長、副課長（幼保係長）、
子育て支援係長、家庭児童係長、職員

6 会議次第

1 開 会

2 市長挨拶

3 委嘱状交付

4 委員自己紹介

5 委員長・副委員長選任

6 議 事

（1）令和2年度子ども・子育て支援事業実施状況について【資料①】

（2）令和4年度以降の那古幼稚園及び純真保育園の取り組みに
ついて【資料②】

（3）質疑・意見交換

（4）その他

7 閉 会

■議事

- (1) 令和2年度子ども・子育て支援事業実施状況について【資料①】
こども課吉田主任主事より資料①-1及び資料①-2に基づき報告

■意見交換の詳細

- (能重委員) 保育園こども園の土曜保育を令和2年度から館野保育園にて実施予定であったが、コロナ禍により各園での実施となった。保護者へ周知がなかった。きちんと知らせたほうがよいのではないか。今後はどうなるのか。わかりやすい情報提供が必要と思うが。
- (副課長) 園を通じてお知らせしているはずだが、不十分であったら申し訳ない。重要なお知らせなので、こども課からしっかりと周知する
今後についてだが、今と令和2年度の当初とでは状況が異なる。今はコロナ禍であることと今後も感染対策は必要。令和2元年度より保育士の採用数も増えているため、各園での土曜保育のサービス提供が可能となった。令和4年度以降は今後検討し方法を決定して周知したい。
- (鈴木委員) 子育てコンシェルジュへの相談や子育ての悩みをこの会議で披露し検討してはどうか。
- (課長) 相談や子育ての悩みの多くは、保育園等の入園に関する相談がほとんどである。発信できるものは、発信していきたい。
- (亀田委員) 赤ちゃん駅の駅は設置したあとの管理も重要だと思う。安心して使えるよう衛生面等適正な管理を希望する。

■議事

- (2) 令和4年度以降の那古幼稚園及び純真保育園の取り組みについて【資料②】
こども課君塚副課長・幼保係長より資料②に基づき報告

■意見交換の詳細

- (小峰委員) 令和10年度の純真保育園の閉園は決まったことか。検討中のことか。
- (課長) 令和10年度の閉園を見込んで取り組んでいきたいということ。
10年度までを見据えた動き。根底には、津波浸水想定区域内にある保育園の保育は避けなければならないという思いがある。代替え施設を建てるには時間もお金もかかる。将来子どもが減っていくことが想定されるので、令和10年位には、既存の施設で受入れが可能だと考えている。
来年度から0歳児を受けない。再来年度からは1～5歳児を受けないので、卒園していけば園児は減っていくということ。
- (鈴木委員) 那古幼稚園をこども園化する考えはあるのか。
- (課長) 検討はした。那古幼稚園の既存施設では足りない。0歳1歳2歳を受け入れる施設を用意しなければいけない。今ある施設を使つての取り組みと考えると、預かり保育により純真の4.5歳児を受入れることから対応していきたい。

(鈴木委員) 純真保育園の兄弟の受け入れはどうなるのか。

(課長) 0歳児は受入れない。兄弟であれば1歳以上は受け入れる。

(副課長) 来年度からのスタートとなるため、保護者にはなるべく早く周知したいと考えている。この会議ではじめての公表となる。今後は市議会へ説明し、その後に9月になったら那古地区の保護者へ手紙でお知らせする。その後、広報誌や在園児の保護者へ手紙を渡してお知らせする。

(亀田委員) 那古地区の方が0歳の子を預けたい場合にはどうすればよいか。

(副課長) 近いところでは、船形こども園、中央保育園がある。園は学区の区別がないため、市内どこの園でも入園希望の申請は可能。4~5歳は那古幼稚園の預かりも利用できる。

(齋藤委員) 現状0歳の子は船形とか市内どの園でも希望すれば入れるのか。

(副課長) 船形とか入れる。現在待機児童はいない。保育士を配置することで受け入れ人数を増やすことができる。

(齋藤委員) 今回の提案は良い案だと思う。那古地区に住んでいない人も純真保育園に通園していると思うが、この案で定員は超えないのか。

(課長) 現在、純真の4.5歳児の在園児の2/3が那古地区、1/3が他地区となっている。那古幼稚園の預かり保育に純真保育園から全員が移動するかどうかかわからない。那古幼稚園の施設の状況から定員を25人とした。

(能重委員) この計画案はよくできているが、船形こども園の保護者として、船形は他地区からも通っている子どももいる。純真の受け皿としてはなりうると思うがこれはあくまでも案ですよ。順調に進むとは限りませんよね。

(課長・副課長)

あくまでも案。来年度以降すすめていく中で、柔軟な対応が必要と考えている。基本的な考えこのようにすすめていきたい。

(能重委員) 他市との連携として、富浦と船形は隣同士。連携はできないのか？

(課長) 定住自立圏という制度を利用して南房総市との連携を検討しているところ。南房総市と館山市は生活圏が一体ということで、保育園に関しても富浦とは連携ができているが、三芳保育園・幼稚園だけが連携できていない。

(齋藤委員) 北条地区で北条幼稚園の預かり保育を開始したときの保護者としての経験から、もともと幼稚園を利用していた保護者と、預かり保育を利用する就労している保護者とは、考えや要望が異なるということを知ってほしい。PTAの役員選出の際も苦労した。

■ 議事

(3) 質疑・意見交換

■ 意見交換の詳細

(能重委員) こども園の給食費の徴収方法について、園の職員が集金するのは大変。銀行に支払うにも手数料がかかると聞いた。銀行口座引き落としはできないか。

(副課長) 今年度、給食費の対応がいろいろと変更しご迷惑をかけている。公金扱いのため、銀行手数料は不要であることを確認している。来年度からの口座振替ができるように勧めている。給食費以外でも口座振替を考えているものがあるため一緒に検討しているところ。

(亀田委員) 元気な広場で行なっているおさがり利用側方支援について、もっと周知したほうがよい。やっているかどうかわからない。

(石渡委員長) 元気な広場で行なっている。コロナ禍でいろいろな方法を模索し検討している。

■ 議事

(4) その他

①新規事業「多様な事業者の参入促進・能力活用事業」について
こども課君塚副課長・幼保係長より資料③「【新規事業】令和3年度「多様な集団活動事業の利用支援事業」をスタートしました」に基づき報告

■ 意見交換の詳細

(鈴木委員) 3歳以上のお子さんがあるのに働いていない保護者は、幼児教育の無償化制度の恩恵を受けていない。市内で3年保育の体制を早く整えてほしい。
<意見として伺う>

(石渡委員長) 純真保育園の取り組みについて、令和10年までかかるようだが、津波はいつ来てもおかしくない。災害等から子どもの命を守る取組は、市としてしっかり行ってほしい。